



絵 ひらっち

# 2009J.League Division2 第3節 湘南ベルマーレ 戦

9/6(日) 18:00~ @岐阜メモリアルセンター長良川競技場

## 先制 逆転 再逆転。J加盟後最多の観客を沸かす勝利。 岐阜 3-2横浜FC【第3節】

F C岐阜対横浜FC戦は3対2で逆転勝ち。F C岐阜は前半、高木選手のPKで先制するも後半に逆転され苦しい展開に、しかしここから逆転への執念を見せるF C岐阜、嶋田選手の同点ゴール、菅選手の逆転ゴールで見事に勝利。こういう盛り上がった試合を見せれば観客数はもっと増えるはず。次の試合も勝つてもっと上へ！。F C岐阜頑張れ！。(ハマッチ)

シーズンゲームでの勝利。内容は決して褒められたものではなかったけれど9113人とJに上がって以降最多の観客の中で勝利できたことこれは初めて見に来たお客さんに対して強いアピールができたんじゃないかな。それにしても見事だったキャプテンのダイレクトボレー。草津戦でのソメのゴール。押谷のボレー。洗一のオーバーヘッド。などなど、今年はホーム側のゴールで劇的なゴールが多く見られて嬉しいね。(岐阜の誇り)

今季最多となる9113人が詰めかけた、夏休み最後のホームゲーム。第3クールの初戦ということもあり、なんとしても勝ちたい試合。しかし、前半はチームとしてイマイチ機能しない。そんな中、(ほぼ)ワンチャンスだった秋田のオーバーラップからPKを獲得して先制、前半を折り返す。後半も序盤はピリッとせず、今度はPKを献上してしまい同点、6分にはオウンゴールで逆転。これはマジイかな...と思ったのだけれど、ここから急にスイッチが入った(ように感じた)。大観衆の声援を受けて走り続け、試合の流れを掴んだ7分、G野田から放たれたボールは真っ先にゴールに向かって走っていたFW佐藤に渡り、ミドルシュート クロスバー直撃 でもGKをブロック 後ろから追いついた嶋田が叩き込んで同点！10秒間で歓喜 溜息 大歓声がスタジアムを揺らした。そしてヒートアップする大声援の中、8分にキャプテン菅が、豪快なボレーシュートを決めて逆転！割れんばかりの大歓声がスタジアムに響き渡る...そして、試合終了。選手との万歳四唱が繰り返され、コアゾーン前ではライندگانまで披露(笑)。しかもサンサンデッキでの選手のお見送り付き。試合そのものとしては課題があるかもしれないが、エンターテイメントとしては最高。まさに「長良川劇場」。今後も、「大観衆の中での長良川劇場」を、是非とも期待したい。(ささたく)

3-2。昨季の第1クール。調子に乗りかけた岐阜に、冷水を浴びせたのが今日の対戦相手・横浜。今夜と同じスコア。ただし、あの時は岐阜の逆転負け。しかし、今夜は立場を入れ替え、歓喜に湧いたのはボクラ。そして、今季の横浜戦は、これで終了。見事無敗で打ち上げとなりました。コレもリベンジ.....って、言えるのかな？

それに何より、J参入以来リーグ戦過去最高の入場者(欲を言えば、大台超えをしてほしかったけど)、ことに初観戦のお客さんにとっては興奮と感動を味わえる試合になった、というか、なってくれたと思う。まあ、それは展開だけで、内容についてはちょっと...

(苦笑)。でも、少なくとも同点になってからの流れは、スタンドも一体となって作り上げたものだと思う。そして、キャプテンのゴールが決まった瞬間に弾け跳び、スタジアム中に充満した熱気と歓声は、今までになかったような雰囲気を作り上げた。これが、まさしくホーム。試合が終わってから、改めてそんなことを考えていた。選手を後押しし、ノせて、勝利を手中に収め、共に喜びを分かち合う。誰もが、笑顔でスタジアムを後にする。「また、来ようね」と言いながら.....。

願わくば、少なくない人がこんなふうに思ってくれて、リピーターに、そしてF C岐阜のサポーターになってくれますように.....。だから、選手のみなさん。ホームでは絶対勝つてね!(ぐん、)

『勝ちに不思議の勝ちあり。負けに不思議の負けなし。』  
どこかの監督さんが言っていたこの言葉。この日のメモリアルのバックスタンドには『不思議』を引き起こす『何か』を感じました。開始すぐのピンチを秀人のクリアで逃れると、秋田がエリア内で倒されてPK獲得。後半追い付かれて同点。その後、開始直後のピンチを救った秀人がOG。しかし、ここから攻勢。嶋田の運動量があればこそ同点ゴール。そして、キャプテン菅のビューティフルゴールで勝ち越し。まさにドラマチックな展開。バックスタンドの応援の中において感じた、『不思議』を引き起こしている『何か』が僕にはよく解らないし、『何か』はひとつだけではないかもしれないけれど、ホームで勝つ時には必要なものでしょう。ぜひ、湘南戦にもこの『不思議』を引き起こす『何か』があることを。(緑の小太鼓)

どうして、こうも試合の入りが悪いのだろう.....とアタマ抱えてしまう、開始早々の大ピンチ。“慣れた”とはいえ、「仕様です」なんてギャグ飛ばされても嬉しくないぞ。PKで取った先制点をPKで返され、オウンゴールで逆転。通常ならへこんでしまう試合展開も、G野田のロングフィードに相手DFとの駆けつっこに勝った洗一がボレー、これはクロスバーに嫌われたけど、ここで残念なことなくすぐに相手GKに競りに行く、しかもフェアルにならないように。これがよかった。こぼれを叩き込んだのが誰かはすぐにわかった。あのスピードで洗一を追いかけて来れるのは正吾しかない。仕上げはキャプテン和範のボレー。あれ、相手DFも詰めてくるし、ボールが落ちてくるまで待つてられないんだよね。で、ボールの下面を叩いて大ふかし、がよくある絵。和範はよくガマンしてミートしたと思います。

J加盟後最多の観客数を迎えた試合で、“勝ち方”としては決して優秀な部類ではないけれど、こうしたドラマチックな逆転勝ちも、『長良川劇場』の呼び名に相応しい。でも、やっぱり試合への入り方の悪さは、修正してほしいなあ。(吉田鑄造)

### today's guest

湘南ベルマーレ  
2008 J2 第5位

#### 対戦成績

第0節	08/04/26	湘南 4-2 岐阜
第2節	08/07/19	岐阜 0-0 湘南
第4節	08/11/30	湘南 3-0 岐阜

### 2009J2

順位表 第3節(暫定)

勝点、得失点差、得点、岐阜戦の戦績  
(岐阜から見て)

1	大阪	74p	+31	74	A	H
2	仙台	73p	+31	61	H	A
3	湘南	71p	+25	64	A	H
4	甲府	71p	+25	57	H	A
5	水戸	66p	+12	60	A	H
6	鳥栖	61p	+13	54	H	A
7	札幌	55p	+9	55	A	H
8	東京V	53p	+7	49	H	A
	徳島	53p	+7	49	A	H
10	富山	51p	-1	36	A	H
11	岐阜	47p	-9	43	---	---
12	草津	43p	-5	49	H	A
13	福岡	40p	-24	36	H	A
14	愛媛	39p	-17	44	A	H
15	熊本	34p	-22	47	H	A
16	岡山	32p	-25	32	H	A
*1	横浜C	26p	-23	28	A	H
*18	栃木	22p	-34	25	A	H

## 次回 HomeGame

第40節

水戸ホーリーホック戦

9/19(土) 13:00

@岐阜メモリアル

センター長良川競技場

## 投稿募集!

gdaidohr@hotmail.co.jp

お待ちしております!

F C岐阜大好き通信(岐大通)

9/6号

編集発行:『岐大通』製作委員会

今号の製作担当:ささたく & 吉田鑄造

### おしらせ

2009年版『岐大通』は、試合数増加のために全ホーム戦での発行を断念し、3~4節ごとに発行の体制で臨んでおります。

次回発行:9/27甲府戦

よろしく願い申し上げます。

## これが“相性”？祝祭の花火とはいかず 岐阜 0-2札幌【第3節】

札幌にうまく試合をコントロールされてしまったなあ、というのが第一印象。僕は23橋本に注目して試合を観ていたのだけれども、あまりきついマークを食らうこともなく割と自由にさせてもらっていたと思うのだがいかんせんよいパスの出どころが無い。「徹底したゆるいマーク」にさらされてしまっているのだ。それで、試合開始早々のうまく試合に入り切れていない時間帯と、後半の大事なところでカウンターを食らって2失点。札幌の注文にはまってしまったような負け方だった。失点に関しては十分修正できる。あとは攻撃面の手詰まり感を何とかしてほしいと思う。(ST57)

FC岐阜対札幌戦は0対2で敗戦。ホームでの無敗記録は11でストップしました。ただ佐藤選手がシュートを5本放つなど攻撃面はよくなって来ているのも確か。次の試合を勝って再上昇しよう。FC岐阜頑張れ！。(ハマッチ)

悔しい！の一言です。ホームで相手の喜びの歌を聞かされた上に、当日の花火を「自分達への祝砲」なんて言われて散々な1日でした。でも、一番悔しかったのは選手達だったはず。負けた悔しさを成長の糧にして、これからも伸びていってほしいです。(ブラウ)

夜空に咲く大輪の花々は、岐阜の夏の風物詩。そして、長良川劇場のスタンドは最上級の観覧席・・・になるはずだったけど。期待も空しく、文字通り「あだ花」になってしまった。自分の家は、長良川競技場から遠くない。だから、ここ数十年、花火はベランダから見ていたんだけど、スタンドから見る花火はまったく別の世界のモノのようで、これで結果が違っていたら、と思うと...(苦笑)。

天気の良いはずらで、花火と重なってしまった札幌戦。それでも、クライマックスはラストの十数分しかかぶらない。是が非でも勝利を飾って、天地ともに喜びの輪が広がる、というのがベストのシナリオ。オマケに季節は真夏。いつもの岐阜らしくない夏の夜が続いているとはいえ、札幌にとってはキツイはず。それを、あの先制点がチャラにしたみたいだね。このところ、ずっと指摘されている試合への入りの悪さをしっかり突かれてしまった。前半を悪くてもイーブンで終われば、後半は岐阜の運動量が効いてくる。岐阜相手でも、スカウティングに抜かりはないね。それにしても、第1クールのクライトンといい、この日のダンルソンといい、助っ人にいいようにやられてるなあ。今回初めて体験した試合中の花火大会。今後もこんな巡り合わせがあるかどうかかわからないけど、やっぱり別々に開催してもらおう方がありがたい。花火があってよかったのは、いつもは片付けが始まる屋台村が叩き売りの真っ盛りだったこと(笑)。半額のカツサンドと、200円になったタコヤキを買って反省会。今夜は、惜しいというより、とても残念な試合。ホーム不敗も途切れたけれど、それはまあ仕方ない。いつかはこんな日も来る。第2クールを笑顔で締め括ることはできなかったが、これをスグに始まる第3クールに生かしてほしいね。(ぐん、)

延期となった花火大会と重なってしまった札幌戦。スタジアムでも勝利の花火を打ち上げるぜ！と思っていたのだけれど...試合開始早々に失点。その後も...やはり、サッカーにはシステムや戦術がある以上、チームの「相性」が存在するのだろうか？そんなことを痛感させられた試合。こちらの良いところを、ことごとく封じられる。しかも後半から本格的に始まった花火大会は、自陣が長良川河畔側だったこともあり、想像以上に試合に影響したのかな、とも思う。けれど、前回の5/16アウェイ戦よりは随分とマシな試合だったのは、チームが成長した証だと前向きに捉えたい。試合終了後、夜空に咲く美しい花火が恨めしくもあり、また心癒される風景でもあった。(ささたく)

### ちょっと苦言を.....

最近、勝ち点3は得ているがあまりにくだらな失点が多い。特に試合の立ち上がりの失点はずっと解消されていない。チームが成長しているからの苦言、上をめざすならば克服して当然。(ヘルハース)



本庄工業株式会社

<http://www.honj-woodream.com/>

## ロスタイムに痛恨の失点！ 仙台 2-1岐阜【第3節】

FC岐阜対仙台戦は1対2で惜敗。前半に西川選手の先制ゴールを決めたまでは良かったけど後半ロスタイムに逆転ゴールを決められ逆転負け。ただ最近上位チームとも遜色ない試合をできているのもたしか。サポーターはもっとFC岐阜に力を。FC岐阜頑張れ！。(ハマッチ)

クリアが小さいっ！

そう思った瞬間ボールを見失って、再びボールが現れたのと同時に飛び込んできた山吹色のユニフォーム、横っ飛びの恭平、揺れるネット、跳ね上がるビッグフラッグ、振り上げられる無数の手。そして、少し遅れて届いてきた文字通り割れんばかりの大歓声。前週の横浜戦でボクらも知っているアノ感覚。それを圧倒的に凌駕するスタジアムの振動。そして、上げられる試合終了の笛とともに、杜の都を揺るがすような興奮と雄叫びと拍手がスタジアムに満ち溢れる。ただ、一角を除いては...。今季仙台には2連敗。J通算でも1分4敗。得点上の惨敗はないが、いつも軽くあしらわれ、いなされているような気がする憎らしい相手。しかも、なぜだか、仙台とやる時には岐阜の重要な選手が出場できないことが多い。第2クールのキャプテンしかり、今回の洗一しかり。そんな中、久しぶりのスタメン、両FWの優大とガチャがチャンスをもノにしようと果敢に動く。いつもと違って、余裕を感じられない仙台から先取点。よし、今日こそはっ、と力が入るが前半終了間にセット・プレーから失点。ここも、スクランブルの中でクリアしきれず押し込まれた形。後半も見せ場は作るが一步及ばず。アディショナルタイムが近づくとつれ、ゴール前に押し込まれ、だんだんクリアが小さくなっていく。わかってはいるが、あれが昇格を狙う仙台のプレッシャーだったのかも知れない。

最寄の駅からスタジアムまでの道やスタジアムには「ユアスタ昇格劇場・夏の陣」なる幟がはためき、だからこそ「劇場というからには、クライマックスに向けてもっと盛り上がるようにしなきゃ。協力しますよ！」と意気込んで臨んだ試合。終了直後のゴール裏は立ち尽くす者、座り込む者、両手で顔を覆う者、それぞれが悔しさを露わにしていたが、もっと悔しそうな選手たちを見て、「これからも、共に戦おう」とばかりにチャントを繰り返す。

キツイ日程だが、ボクらもなんとかして駆けつける。この悔しさを次節で晴らそう！(ぐん、)

岐阜とは異なり、もう夜は肌寒い仙台ユアスタ。専用スタジアムに11,810人、うち岐阜サポ30名足らずとアウェイ感満載(苦笑)。けれど選手達は、2位の仙台相手に互角がそれ以上の試合を見せつけてくれた。相手の攻撃にも我慢して守り、押し込む場面も。そして前半28分。嶋田が自陣後方から一気に持ち込み、優大が押し込んで先制！このまま前半を終わらせたが、#10梁勇基の意表を突いたFがゴールポストを叩き、これを(またも平瀬に！)押し込められて同点に。後半も何度か攻め込むものの、得点できない。すると徐々に仙台の攻撃が激しくなり、我慢する時間が多くなるが、ゴールを許さず時間は過ぎてゆく。そしてロスタイム。このままかな...と脳裏に勝ち点1が浮かんだが、最後の最後に逆転ゴールを許してしまい、何とも悔しい敗退。試合終了後に仙台の選手達の多くがピッチに倒れ込む姿に、優勝争い・J1昇格争いをしているチームとの差が出てしまったのかと感じた。(ささたく)

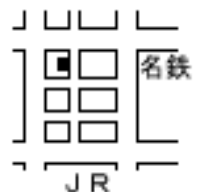
# ALADDIN

何も無い店だけど・・・心の花が咲く・・・  
何も無い店だけど・・・心、癒される・・・  
忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

「いらっしやいませ」より  
「おかえりなさい」が似合う  
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は  
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。  
休：日曜日(今日はお休みです)





## 前回対戦の借り返す大勝も、内容は...。 熊本2-岐阜【第3節】

F C岐阜対熊本戦は5対2で完勝！。アウェイでも積極的な攻撃が功を奏し5得点、サポーターも大満足の試合となりました。佐藤選手はこれで10得点、FWとしての存在感が出てきたね。次もサポーター全員でF C岐阜を盛り上げよう！。F C岐阜頑張れ！（ハマッチ）

第3クール。仙台から熊本と続くこの日程が今季の最難関。選手はもちろん、サポにとっても無理難題なスケジュール。第1クールの札幌（土曜） 横浜（水曜）もたいがいだと思ったが、日程作成担当者（日程くん？）を恨まずにはいられない。しかし、この「来れるもんなら来てみな？」とばかりのいわば挑発的なスケジュールでも、駆けつけるサポはいるのである。当然、やむなく参戦できなかった仲間の思いを預かってくる者もいる。現地に参集した岐阜サポは20人に満たなかったけれど、だからこそ、スタジアム以外で声援を送るサポーターの気持ちを選手たちが感じ取って戦ってくれたと思いたい。みんなで勝ち取った勝利の味はたまらないね。本音をいえば、岐阜がよかったのか、熊本が悪すぎたのかはよくわからないけど（苦笑）、橋本のクールな巧さと正吾の無尽蔵のスピード、そして確実に結果を出してくれる、信頼のおけるエース洗一の決定力を十二分に堪能することができた。前節のうっぶんも第2クールの雪辱も果たし、帰りの道の足取りも軽い。

だがしかし、選手にはこの結果に満足してほしくない。ある意味崩壊していた熊本守備陣からは、もっと点を取らなきゃダメだ。決める時に決める大切さはわかってはいるはず。次回以降の対戦で、熊本が選手もスタッフもサポも気後れするくらいなダメージを与えるチャンスだった。それは対熊本だけではない。退場者を出していないにもかかわらず大量得点を奪ったとすれば、それは次節以降の対戦相手にも十分な脅威となったはずだ。

勝利はウレシイし、それが快勝なら言うことはないが、岐阜の選手たちには「勝ち方にもこだわらる」ような、さらに上のレベルをめざした試合ができるようになってほしいな。（くん、）

（今回は自宅観戦でした。）前節アウェイ仙台の敗戦から中2日で、今度は九州。厳しい日程だが、前回は2-5と惨敗してしまった「昇格同期対決、是非ともリベンジしたい相手。ところが、開始早々2分で失点。おいおい...と思ったけれど、5分後に佐藤のポストプレーから嶋田が突き刺して同点。ここからは、ほぼ岐阜の一方的ペース。29分に高木のヒールパス 富成の見事なミドル、3分に橋本のスルーパス 西川が抜け出してゴール、6分には橋本のクロス 佐藤がダイレクト、6分には相手Gの弾いたボールを再び佐藤が押し込み、5得点。ロスタイムに1点を返されたが、今回は5-2と見事に意趣返しできた。...しかし、これだけ大勝したから、あえて苦言を。まだ3点は獲れたのではないかな（苦笑）。それと、試合序盤に相手の決定機がやってくる「仕様」は、なんとかしてください（苦笑）。ま、その辺りは選手達もよく分かっているようで、試合終了後もあまり笑っていなかった。これに満足・慢心せずに湘南戦を迎えてほしい。（ささたく）

## ユースもセカンドもがんばってます

### ユース

8月29日にF C岐阜U-18の試合が行われました。印象として、チーム自体はまだまだ発展途上。しかし時には「おっ」というプレーもあり今後が楽しみな存在です。

J1に居るチームは必ず優れたユースがあります。将来地元から優れた選手が多数出ることがあるかも。ですが岐阜はまだまだ環境面でも不足中。そのためには一チームのみが強くてダメ。互いに切磋琢磨することで底上げにつながることを期待します。

### セカンド

8月30日に行われた岐阜経済大学岐阜県代表決定戦。延長戦の末辛くも勝利を収めました。これにより9月19日15:00 長良川球技メドウで新潟県代表と対戦（チケットは別に購入が必要です）。その日は13:00よりメモリアルで水戸戦が行われます。何故このような日程になったのかは岐阜県サッカー協会に猛省していただきましょう（笑）。

TOPの選手も頑張っていますが、2NDの選手も結果を出そうとして頑張っています。「岐阜県代表」という看板を背負って頑張る人達を応援してあげてください。（ち～な）

## 大盛り上がりのサポーターパーティー （8/18@岐阜グランドホテル）

到着したのは開会10分ほど前。それなのに会場はすでに盛況で、目移りするほど用意されたフード・コーナーはもちろん、ドリンク・コーナーにも長い列。ただ、アルコール・コーナーは少なめで本日の参加者層がうかがえる。やはり、夏休みということで子供の数が目立ち、それがほのぼのとした雰囲気醸し出していた。会場には8人掛けのテーブルが43脚。定員は350人と聞いていたが、各テーブルとも満席に近く、受付にはキャンセル待ち(!)の方も何人かいらしたらしい。このクラブの存在を認め、愛しく思う人たちが増えているような気がしてとてもウレシかった。

受付には全選手から提供されたオークション用のグッズがズラリ。俊慶と洗一は、大学時代に行われた地域対抗戦で着用したユニフォームを出品。その大会の決勝戦で俊慶の九州選抜と洗一の東海北陸選抜が顔を合わせ、PK戦の末東海北陸選抜が優勝したとのこと。そんなエピソードも何か微笑ましく思える。菊池の色紙もキャラが出ていてオモシロかったが、いちばんウケたのが永芳。淳亭からもらったキャップ、って。いいのか？会場内ではフードのメニューごとに2人ずつ選手が配置され、順番にディッシュを手渡ししてくれた。みんなお揃いの法被を着ていたが、それが着こなせてない選手がいるかと思えば、もうピッタリ板について、本物の営業マンか販売員にしか見えない選手も（笑）でも、似合わない方がいいのかも？

いよいよ開会となって選手・スタッフが壇上に並ぶ。2・6・18・19・21は他のイベント出席のため、27はU-20参加により欠席と全員参加でなかったのがやや残念。それぞれの自己紹介がなかなか味があってオモシロかった。ブログをやっている選手がそこからのネタを持ち出したり、別の選手にネタ振りをしたりと、みんなかなりの芸達者ぶり。選手のトリを飾った須崎は最初、司会のメーテレ・松井アナに忘れ去られてしまうハプニング（爆）それでも、「磐田で一度参加したファン感より、今夜の方が楽しいです。」とカワイイ一言。他の選手から可愛がられているのがわかる気がした。

その後、アトラクションの「借り物競争」で盛り上がり、オークションで落札したサポに選手からサインを入れて直に手渡し。親御さんに連れられて壇上に上がったお子さんには忘れられない夏の思い出となったことだろう。大きくなって、今まで以上にこのクラブを応援していきましょう。キャプテンの挨拶でお開きとなった後は、出口に参加選手全員のテーブルが並び握手＆サイン会。サインをもらいながら話ができて、デザート（笑）まで満足できたパーティーだった。

申し込んだ時は「とりあえず、政治家の資金集めみたいなモンでもやむなし。」などと考えていたことをお詫びします。（くん、）

夏休みの最中とあって、午後6時開始でも大盛況。家族連れの参加が多く、お子様も大満足のパーティーになったのではないのでしょうか。

壇上の挨拶前には、選手がホテルのハッピーを来て接待！新人ホテルマン風もいれば、温泉を抱える地方都市の観光協会職員風もいて。やはり序盤はステキなど“重め”のメニューに人気が集中、サラダコーナー担当になった選手は必死に営業をしていて微笑ましい（笑）。借り物競争ではさすがのダッシュ力を披露する選手も多く、プロの身体能力を見せてくれました。最後は選手の締め続いて参加者からの“F C岐阜コール”で終了。いやいや、すばらしいパーティーをありがとうございます。是非、次回もよろしく願います。（吉田鑄造）

## U-20日本代表としてスペイン遠征に参加した押谷選手、結果を残してきました！

アルクディア（スペイン）国際ユーストーナメントに参加したU-20日本代表は、グループリーグを2勝1分で首位通過。準決勝では大会優勝するパレンシアに2-3で敗れるものの、3位決定戦ではヴィジャレアルに3-2と逆転勝ち、見事3位となりました。

そして、我らが押谷祐樹選手は今大会チーム最多の3得点をマーク！3位決定戦では（記録では）89分に決勝点となる3点目をゲットしています。

晴れ舞台での活躍を土産に戻ってきた押谷選手、F C岐阜での更なる活躍に期待大です！（吉田鑄造）